

令和5年度まごころ居住支援活動報告

令和5年4月~11月末

(1) 入居前相談支援

○相談実績 27人

① 属性 低額所得者 22人 高齢者 12人 障がい者（メンタル不調を含む） 8人
こども養育者（ひとり親） 2人 妊婦（ひとり親） 1人 外国人 1人
DV 被害者 1人

② 収入 無収入・生活保護申請 7人 生活保護費 8人
年金 月3万台 1人 月12~13万台 2人
二世帯で月 20万 1世帯
給与所得 月10万程度 1人 月18万程度 1人

※別居を考えている家族が本人の年金等管理し、収入額が把握できない方もあります。

③ 相談窓口への経由機関

社会福祉課保護係 15人 こども未来課 1人 健康課母子保健係 1人
包括支援センター 4人 障がい者支援事業所 1人
見守り大家ヘルプライン 1人 市議員 1人 ネット検索 1人
前年度成約者本人 1人

③ 緊急連絡先の無い方 9名

○成約件数 14件 民間賃貸住宅（個人オーナーの物件） 13件
県営住宅 1件

(2) 入居中生活相談

① Nさん 歩行に困難がありごみを集積所まで運ぶことが難しくなったため瀬戸市のふれあい収集を紹介し、申請をサポートしました。また介護認定を受けることをお勧めし、包括支援センターに相談のうえ自宅訪問に同行しました。

② Iさん 一般就労 給与と障がい年金を合わせ生活に足る収入はあるが家賃を滞納してしまいました。軽い知的障がいがあるため判断力、理解力が十分でないため管理会社との連絡のサポートやアドバイスをし滞納の一部は支払ったもののいまだ全額は支払えていないようです。

- ③ Tさん 本人より家賃滞納の相談を受け、大家さんに分割払いの相談をし了承を得を得ました。軽い知的障がいがあるため分割払いの具体的な進め方をアドバイスしました。カードローンの返済請求が届くという相談もあり、生活安全課の法律相談につなぎ窓口に同行しました。また別の問題で書類の提出をサポートしました。
- ④ その他 入居者から近隣からの苦情、猛暑中の扇風機の故障、電気代未払いによる供給停止等の相談があり対応しました。

(3) 入居中居住支援

今年度は法人の支援体制に変更があり、生活相談には丁寧に対応し食糧支援も行っているものの見守り訪問の頻度が大きく落ちてしまっています。一月には入居中の生活支援員兼相談員を確保できる見通しなので、定期的な見守り訪問・電話による安否確認を実施していきます。

(4) 孤独死への対応

まごころが平成30年に居住支援法人の指定を受け活動を始めて以来、今年度になり初めて一人暮らしの入居者の方が亡くなりました。瀬戸市高齢者見守りシステムのセンサーを居住支援の入居者に対しては無料で設置していただいておりますが、コールセンターからの連絡で担当者が安否確認のため訪問したところ亡くなっておられました。遠い県外にお住まいのご親族と連絡がとることができ、協議会の構成団体の協力を得て葬儀・残置物の処理に関して支援をすることができました。

この支援を体験することで、入居者が亡くなられたときの葬儀・残置物等の問題に対して具体的に考えて行かねばならないことを実感しました。

その一歩として、令和6年1月31日 開催される協議会主催の「瀬戸市居住支援セミナー」に学びます。